



宮崎県医療ソーシャルワーカー

# 協会NEWS

第68号

## 会長挨拶



黒木 教裕 会長

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことをお慶び申し上げます。平素より本協会活動に特段のご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

西日本豪雨災害など全国各地での災害により被災された皆様に対しては、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興をお祈りしております。

さて、2012年から6年間に亘り、本協会を率いて来られた友永前会長からバトンを受け継ぎ、2018年6月

から会長を務めることになりました。これからの協会運営に尽力して参りますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

本協会は、1964年に発足し、今では県内外の医療機関や介護・社会福祉関連施設、教育機関などで働く方々で構成され、会員数は170名となりました。今後は、法人化取得を目指し、更なる基盤強化に着手していくことを基本方針に掲げていきます。

私は、昨年高齢者介護施設へ転職し、新たな分野に挑戦をしています。医療と介護連携のための介護職の技術の向上、介護を担う人材の確保や研修、ご利用者満足度の向上、地域に安心を提供する地域貢献など日々奮闘しております。

先日、医療ソーシャルワーカーからの問い合わせで、「医療依存の高い方の入所は

可能ですか」と質問を受けました。働くフィールドが変わったとしても、医療と介護の連携と役割分担、切れ目のない支援の必要性をますます肌で実感しています。

平成30年度診療介護報酬の同時改定や地域包括ケアシステムを深化・推進していく上で、医療ソーシャルワーカーへの社会的要請、役割期待が益々高まっています。今後もより一層我々が信頼に応え、成長していく必要があります。そのために、機動的な組織体制の確立に向けて、法人化に着手をしていく所存です。

これからも本協会は、会員をサポートできる場や能力・意欲向上のための研修等を多く企画していきます。多くの方々と共に本協会を盛り上げ、積極的な参画と活用をしていただき、会員同士の大きな連携の輪を築いていきましょう。



## 定期総会

【日時】平成30年6月2日(土) 【会場】宮崎市民プラザ 大会議場

定期総会にて、前年度の事業報告及び、決算・監査報告。新年度事業計画、予算案。会則内規の改正が審議されました。また、役員改選に伴い新理事が決定しております。

会 長	黒木 教裕	特別養護老人ホーム 立縫の里
副 会 長	小森有 英子	潤和会記念病院
副会長兼事務局長	和田 智美	国立病院機構都城医療センター
事 務 局	渡辺 夏美	都城市祝吉沖水地区地域包括支援センター
社会活動部	井戸川 美香	宮崎江南病院
	時任由紀奈	小林市立病院
財 政 部	大崎まゆみ	藤元中央病院
	長川 悟史	特別養護老人ホーム 長生園
教育研修部	遠藤 亮平	宮崎善仁会病院
	中山美奈子	けいめい記念病院
	武本 倫代	潤和会居宅介護支援事業所
	野間 義史	介護老人保健施設サンヒルきよたけ
広 報 部	宮本 淳史	延岡リハビリテーション病院
監 事	友永栄一郎	潤和会記念病院
監 事	永江 則征	和田病院



特別講演

定期総会終了後に、一般社団法人 熊本県医療ソーシャルワーカー協会会長 土肥尚浩氏による、特別講演が行われました。

テーマは「法人化について」。医療ソーシャルワーカー協会法人化のメリット。手続きに要する期間や費用などについて分かりやすく講演いただきました。



一般社団法人熊本県医療ソーシャルワーカー協会 会長 土肥尚浩氏



感想



潤和会記念病院 友永栄一郎

今年度は、定期総会後の午前中の時間を利用して、特別講演を開催した。テーマは、当協会の課題である「法人化について」であった。

会員向けに親しみやすくわかりやすい、それでいて説得力のある話をしてもらいたいと考えたとき、すぐに私の頭には「ぜひ土肥会長にお願いしたい。」との思いが湧いてきた。くまモンのような癒し系のキャラクターと穏やかな語り口は、まさにうってつけであった。

土肥会長は、自己紹介で趣味はダイエットと笑いを誘った後、「ゆるーくでOK」というスライドを入れていた。これには、土肥会長の「法人化ってそんなに難しく考えることではないんだよ」との

メッセージが込められ、我々は見事に肩の力を抜いて本題を聴くことができたように思う。

本題では、まず最も大事なことから、何のために法人化するのかについて語ってくれた。そのまま書いてみる。

「SWとして地域貢献をしていくために法人格が必要になってきた」「組織の発展のためには必要となってきた」「周りを見ると熊本県内で活動する医療福祉専門職団体が法人格を持っていないのは僅か「熊本地震を経験し必要性を再確認」とある。どうだろう。とてもよく納得できるのではないだろうか。特に地域貢献に必要という点は重要である。

国の事業が地域に下りて来た時、いくら我々がそれに貢献したいと思っても、行政は任意団体をなかなか相手にはしてくれない。法人格を持つ団体と任意団体では、それほど社会的信用に差が生じるのである。

法人化のメリットというスライドでも、「社会的信用が向上する」「行政機関との連携や補助金が受けやすくなる」

として、この点に触れていない。このようなメリットをもちたらずことによって、団体の活動が活性化され、組織的発展にもつながっていくのである。

次に、何を指すべきか、どのようにすれば法人化できるのか、についてもわかりやすく説明してくれた。公益社団法人はハードルが高いから、まず一般社団法人を目指すべし。一般社団法人になるには、定款の認証を公証人役場で受け、法務局で登記手続きをすれば良い。定款は既にある会則を手直しすれば良い。土肥会長の言葉を借りれば、「拍子抜けするほど簡単だった。」となる。しかも、かかった費用は、司法書士へ支払った相談・手続きの費用(熊本の場合は格安で約15万円)と法人登記費用(約6万円)と

法人登記費用(約6万円)と協会でもできるのではないかとはいえない。俄然宮崎県という気持ちになってくる。結局のところ、手続き自体はそう難しくはないが、我々が補助金や事業委託を積極的に受けて、事業を拡大して地域社会に貢献していく心づも

りがあるか否か、それが問われているのだと思う。ともあれ、形から入ってみるのもありかもしれない。法人化して一年で感じたことの中に、「協会運営の視点が内から外へ」「理事の意識変化」というものがあつた。これを読んでいるあなたはどうか考えるだろうか。

最後に、非常に多忙な中で講師を引き受けてくださり、私の会長としての最後の願いを叶えてくれた土肥会長に、心からの謝意を表したい。





都城市認知症地域支援推進員  
渡辺夏美氏



宮崎市認知症地域支援推進員  
大迫健二氏



医療法人静光園 白川病院  
相談支援包括化推進委員  
竹下一樹氏

# 総会后研修

テーマ

認知症にやさしいまちづくり  
〜 私たちにできることを考える〜



## 感想



千代田病院  
児玉卓也

平成30年度定期総会后研修は、認知症にやさしいまちづくりがテーマでした。国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進しています。2015年に策定された新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）にも認知症高齢者等にやさしい地域の実現には、関係省庁の連携はもとより、行政だけでなく民間セクターや地域住民自らなど、様々な主体がそれぞれの役割を果たしていくことが求められています。

す。今回の研修会では、その実践報告のような講演を聞くことができました。白川病院竹下一樹先生が認知症にフレンドリーな町づくりについて、宮崎市認知症地域支援推進員の大迫健二先生、都城市認知症地域支援推進員の渡辺夏美先生が認知症地域支援推進委員の役割や活動について講演をされました。

その中で、白川病院竹下一樹先生の講演は、「地域の力」が加われば住み慣れた地域で最後まで生活することができると感じさせられた講演でした。地域住民に主体性をもってもらい、行政だけでは解決できない問題も地域住民と協力して、解決していくことが地域包括ケアシステムの重要な鍵になることを実感しました。地域には様々な問題もありますが、問題を解決するヒントや答えがあることを考えることができる研修会だと思いました。



# 新入会員紹介



和田卓也

- ①宮崎市立田野病院 ②1ヶ月
  - ③体を動かすこと、ドライブ、旅行
  - ④ダイエットして体重計に乗ること
  - ⑤One for all, All for one
  - ⑥ソーシャルワーカーとして、今からまた勉強という気持ちで頑張りたいと思っています。
- 今後研修などにも参加させていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。



丸山庸介

- ①住宅型有料老人ホーム アンシャンテ平和の森
  - ②6年 ③剣道 ④家や車の掃除
  - ⑤継続は力なり
  - ⑥医療や福祉の制度等、色々な知識を身につけ成長したいと考えています。
- 御指導の程宜しくお願い致します。



中田麻衣

- ①宮崎県済生会 日向病院
- ②5ヶ月 ③ソフトボール ④DIY
- ⑤神様は乗り越えられない試練を与えない
- ⑥患者様、ご家族さまの心に寄り添い、頼りにしてもらえるMSWを目指し、日々努力していきたいと思ひます。



中武弘明

- ①宮崎大学医学部附属病院
- ②3ヶ月 ③昼寝 ④音楽を聞くこと
- ⑤努力に勝る天才なし
- ⑥新社会人として一生懸命がんばります。宜しくお願い致します。



神田康友

- ①宮崎大学医学部附属病院
- ②3ヶ月 ③家庭菜園、料理
- ④肉を食べる
- ⑤愛語よく廻天の力あり
- ⑥地域へ貢献出来るように、誠実に業務に取り組み、基本をしっかり学びます。いつも素敵な笑顔が心がけます。



黒木梨沙

- ①宮崎大学医学部附属病院
- ②7年 ③ショッピング
- ④部屋のインテリア集め
- ⑤誠心誠意
- ⑥宮崎市でソーシャルワーカーとして働くのは初めてなので、新たな気持ちで学んでいきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

- ①所属(勤務先)
- ②ソーシャルワーカー経験年数
- ③趣味
- ④マイブーム
- ⑤座右の銘
- ⑥抱負



石川知恵美

- ①宮崎生協病院
- ②15年3ヶ月 ③スポーツ観戦
- ④読書 ⑤後ろは振り返らない
- ⑥ソーシャルワーカーとして15年勤めた後、事務職に配置転換となっていたが、久しぶりに戻ってまいりました。皆様、再びよろしくお願い致します。



日高源太

- ①一般財団法人 潤和リハビリテーション 振興財団 介護老人保健施設 ひむか苑
- ②2ヶ月 ③ゴルフ
- ④靴みがき(最近革靴を買ったので)
- ⑤七転び八起き
- ⑥老健の支援相談員となって社会人一年目の様な気分ですが、同時に危機感を抱きながら必死に仕事を覚えています。より良い支援につながるように頑張ります。



瀬筒麻美

- ①県立宮崎病院 医療連携科
- ②約6ヶ月 ③ドライブ
- ④家族でパン屋巡り
- ⑤日々是好日
- ⑥まだまだMSWとして未熟ですが、経験豊富でパワフルな先輩方の元で、私も1人のMSWとして、人間として成長していきたいと思ひます。今後共、宜しくお願い致します。



高野峻平

- ①医療法人 慶明会 おび中央病院
- ②3ヶ月 ③プロ野球観戦 ④ダイエット
- ⑤できない理由ではなくできる方法を考える
- ⑥忙しい業務の中で毎日学ぶことがあり、やりがいを感じる瞬間も多々あります。根拠を持って発言できるソーシャルワーカーになります！



堀切修馬

- ①医療法人 慶明会 おび中央病院
- ②3ヶ月 ③弁当作り ④外食
- ⑤初志貫徹
- ⑥何らかの課題や不安を抱えている患者様、ご家族に対し納得のいく支援となるよう日々知識や技術を向上させていきます。



長友佑太

- ①医療法人 慶明会 おび中央病院
- ②7年3ヶ月 ③サッカー、フットサル
- ④ランニング、フィジカルトレーニング
- ⑤日々精進
- ⑥前職でケアマネージャーとして勤めておりました。地域に開かれた医療を目指して、日々精進していきたいと思ひます。